

REHABILI プロコン40 リハビリ工法

亜硝酸リチウム含有表面被覆用モルタルによる 塩害・中性化・ASR補修技術

リハビリ被覆工法



特 徴

亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタルによる劣化因子の遮断!

リハビリ被覆工法のリハビリ被覆材には、『リハビリモルタル』(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル)を使用します。『リハビリモルタル』は付着性に優れているため、母材コンクリートとの一体性を確保することができます。また、組織が緻密であるため、劣化因子(水分、塩化物イオン、酸素、二酸化炭素など)の侵入を防ぐことができます。

亜硝酸リチウムによる塩害・中性化・ASR抑制効果の付与!

従来の表面被覆工法の目的は、コンクリート表面から侵入してくる劣化因子を遮断することです。しかし、ポリマーセメントモルタル系表面被覆材と亜硝酸リチウムを組み合わせることにより、表面被覆工本来の劣化因子遮断効果に加えて亜硝酸リチウムによる鉄筋腐食抑制効果及びASR膨張抑制効果をコンクリート表層部に付与することが出来ます。そのため、特に塩害、中性化、ASRの補修対策として適しています。

目的に応じた上塗りを選択により、耐久性の向上!

補修目的に応じて、アクリルゴム、ポリマー系塗膜、高分子系浸透性防水材等を使い分けることにより、構造物の耐久性を向上することができます。

施工仕様

補修方法：左官工法・ローラーによる塗布
被覆材：『リハビリモルタル』(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル(プロコン40混入))
防錆剤：『プロコン40』(浸透拡散型亜硝酸リチウム)

施工手順 標準仕様

1. 施工面を高圧洗浄またはディスクサンダー等により下地処理します。
 2. コンクリート表面全体に『プロコン40』を塗布します。(標準塗布量:0.3kg/m²:塩分量によって塗布量を調整する。)
 3. コンクリート表面全体に『リハビリモルタル』をコテまたはローラー、刷毛で塗布します。(標準塗布量:2mm厚で約3kg/m²(練り上がり後の重量))
 4. 高分子系浸透性防水材等を用いて上塗りを行い、『リハビリモルタル』層を保護します。
- ※ リハビリモルタル配合比/モルキープ#20:キープジョンK-100:水:プロコン40=25kg:1.6kg:4.8kg:3.2kg

使用材料

モルキープ#20

(プレミックスモルタル、(株)トクヤマエムテック社製)

キープジョンK-100

(EVA系、トクヤマエムテック社製)

プロコン40

(亜硝酸リチウム40%水溶液、福德技研(株)製)

リハビリモルタル試験成績

項目	材 齢	リハビリモルタル	備 考
硬化体密度(g/cm ³)		1.4	4×4×16cm供試体を容積256で除した値
圧縮強度(N/mm ²)	1日	2.2	JIS A 1171:2000 に準拠
	7日	6.5	
	28日	8.8	
曲げ強度(N/mm ²)	1日	1.0	試験条件:標準配合、 20°C±2°C封緘養生
	7日	2.4	
	28日	2.9	
付着強さ(N/mm ²)		1.5	
硬化収縮率(%)		-0.02	



① 亜硝酸リチウム塗布

- 下地処理工完了後、コンクリート表面全体にプロコン40を塗布する。



② リハビリ被覆材 (亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル)塗布

- 亜硝酸リチウムを含有したリハビリモルタルをコンクリート表面全体に塗布する。



③ 上塗り

- 高分子系浸透性防水材などを用いて上塗りを行い、亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル層を保護する。



④ 工事完了

- 表面被覆工により外部からの劣化因子(水分)を遮断するとともに、コンクリート表層部は亜硝酸リチウムによって塩害・中性化・ASR対策を行う。

施工概念図

① 下地処理(高圧水洗ケレン)

② 『プロコン40』
(浸透拡散型亜硝酸リチウム)塗布

③ 『リハビリモルタル』
(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル)

④ 高分子系浸透性防水材など



一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会

事務局 / 〒730-0053 広島市中区東千田町2-3-26
TEL082-541-0133
http://www.j-cma.jp